記者発表資料

平成２２年 ２月１９日
東 北 地 方 整 備 局
北上川下流河川事務所

平成２１年度　水閘門操作員等講習会を開催
～洪水や津波などから地域を守るために～

洪水や津波などの際に、河川からの逆流を防止するため設置している水閘門等（水門・樋門・樋管・陸閘）や内水排除のため設置している排水機場などの適切な操作運用を目的とした講習会を操作員を対象として実施します。

１．講習会趣旨

北上川下流河川事務所が管理する河川は、北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川などで、その管理延長は２１０．５ｋｍに及びます。

この区間には、操作員を配置している水閘門等が１６４施設あり、約２５０名の操作員が洪水時などの際に被害軽減のため、昼夜問わずに施設の操作を行っております。また、平常時には定期的に点検を行うことで水閘門等が適切な操作ができるよう管理を行っております。

当講習会では、ゲート操作の留意点や今年度の出水状況、操作員との意見交換を実施し、洪水時等に確実な操作運用が図られることを目的として開催します。

２．講習会日程

１）日　時　：　平成２２年２月２３日（火）　１０時３０分から１５時まで
２）場　所　：　石巻市河北総合センター　ビッグバン　文化交流ホール
　　宮城県石巻市成田字小塚裏畑54

３．講習会内容

１）午　前　：　（全体会議）水閘門等の操作点検に関する留意点　など
２）午　後　：　（個別会議）意見交換会、その他事項

※添付資料：樋門・樋管操作員の仕事について

★発表記者会は、石巻記者クラブ、古川記者クラブです。★

問い合わせ先

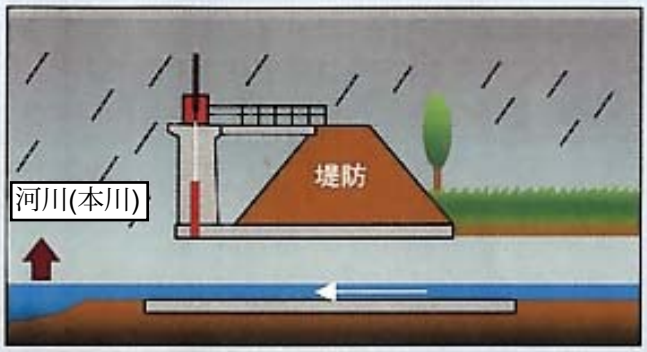
国土交通省東北地方整備局　北上川下流河川事務所
石巻市蛇田字新下沼８０　（TEL 0225-94-9852管理課直通）
技術副所長　庄司　正彦　(204)
管理課長　堺　善昭　(331)

ご存知ですか？

地域を水害から守る樋門・樋管操作員の仕事を！

樋門（ひもん）・樋管（ひかん）操作員の仕事を紹介します

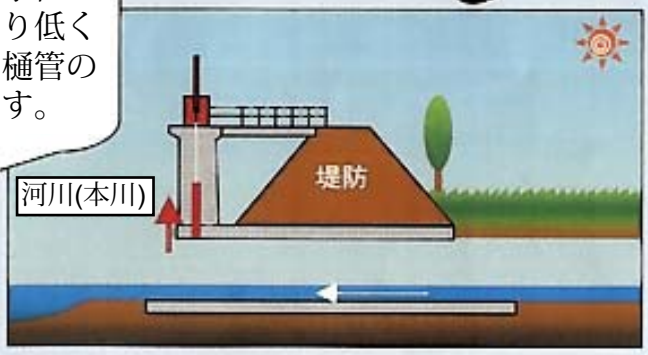
大雨の時に昼夜関係なく樋門・樋管の開閉操作を行うのが樋門・樋管操作員です。樋門・樋管の操作は、地域の安全と財産をまもる大切な仕事なのです。



大雨が降ると川の水かさがどんどん増えます。

河川（本川）の水位が支川等の水位より高くなると、支川へ逆流し、宅地や田んぼなどが浸水します。

宅地や田んぼなどの浸水を防ぐため樋門・樋管のゲートを閉めます。また、定期的に水位の状況を確認し、河川管理者に報告します。

操作員は雨の降っていない時でも、ゲート等に異常がないか定期的に巡視・点検を行います。

河川（本川）の水位が支川等の水位より低くなったら樋門・樋管のゲートを開きます。